

# Lorenz von Stein 関係文献

星 健 一

はじめに

- I Stein 著述の邦訳
- II Stein に関する文献

## はじめに

過日チュービンゲン大学, Fritz Opitz 博士より下記の調査依頼があり, 回答を作成した。既にいくつかのシュタイン関係文献目録が公刊されているが, 文書類を含めてのリストは見当らないので, 新たに当館蔵本により作成した。今後の参考になるかと思うのでここに紹介する。

<来 信>

拝啓 (略)

さて, 我が Tübingen 大学におきまして, 今年1977年は, 設立500年祭が催され, その一連の行事として, Lorenz von Stein の行績につきまして, 小規模乍ら, 国際会議が開られます。彼は明治憲法創作に当り, 渡独した伊藤博文等に多大の影響を与え, 明治10年代, すでに彼の著作が邦訳されています。つきましては, 現代に至るまでの彼の著作の邦訳名, 並びに彼についての研究図書につきまして, 御足労乍ら, 御一報願えれば幸いに存じます。

敬具

Dr.Fritz Opitz

<原文(日本語)のまま>

## I Stein 著述の邦訳

1. 荒川邦蔵訳 国理論 独逸学協会 明治15.6 21p 19cm (行政学の抄訳) <特17-737>
2. 木下周一, 山脇玄訳 兵制学 1~3巻 近藤幸止刊 明16 1巻71p, 2巻59p, 3巻92p 18cm <33-1>
3. 文部省専門学務局訳 行政学 教育篇 文部省編輯局 明17 103p 20cm <253-4>
4. 渡辺廉吉訳 行政学 上, 中, 下 元老院 明20 上440p, 中666p, 下275p 20cm <24-1>
5. 自治論 (自治論纂 独逸学協会 明21 pp60~76 所収) (行政学の抄訳) <27-156>
6. 河島醇編 古田新六訳 憲法及行政法 要義 集成社 明22 192p 20cm <38-76>
7. 海江田信義聴講 丸山作楽筆記 有賀長雄, 曲木高配訳 須多因氏講義 宮内省 明22 596, 12p 20cm <33-70>
8. 海江田信義聴講 丸山作楽筆記 有賀長雄, 曲木高配訳 須多因氏講義筆記

偕行社 明22 415p 20cm (宮内  
省蔵版) <38-70イ>

背の書名: 外人の観たる我が国体  
暎国スタイン博士の国法学

9. 小松宮彰仁親王聴講 スタイン・グ  
ナ イスト両師講義年記 明23 <未所蔵>
10. 綿貫哲雄訳 仏蘭西革命史論 興亡史  
論刊行会 大正7 482p 21cm  
<a 235-3><235.6-Sr3ウ>  
内容: 「1789年より現代に至る仏蘭西  
社会運動史」の中の「1830年以前の仏  
蘭西革命社会史」の部分訳, 「社会運  
動の理論」の訳, エルンスト・グリ  
ュ ンフェルド「スタインの生涯並に社会  
学説の影響」の訳, スタイン著作目録
11. 海江田信義聴講 丸山作楽筆記 有賀  
長雄, 曲木高配訳 須多因氏講義筆記  
(吉野作造編 明治文化全集 第4卷  
憲政篇 日本評論社 昭3 pp 497~  
613 所収) (偕行社 明22版の再録)  
<081.6-M448-Y>
12. 神戸正一訳 財政学序説 有斐閣 昭  
12 241p 22cm <741-26><a 340-  
19>
13. 猪木正道訳 社会の概念と運動法則  
みすず書房 昭24 250p 19cm  
(「フランス社会運動史」の緒論の訳)  
<361-St3ウ><363.02-cS81s-I>
14. 五十嵐豊作訳 社会の概念と運動法則  
実業之日本社 昭24 231p 19cm  
(政治思想古典選集 8) <363.02-  
cS81s-Iz>
15. 海江田信義聴講 丸山作楽筆記 有賀  
長雄, 曲木高配訳 須田因氏講義筆記  
(明治文化研究会編 明治文化全集 改  
版 第1卷 憲政篇 日本評論新社 昭  
30 pp 497~613 所収) (偕行社明22  
版の再録) <081.6-M448-M(t)>

## II Stein に関する文献

### 図 書

1. 黒田清隆 環遊日記 上, 中, 下 出  
版者不明 明20 上496p, 中627p,  
下495p 図版・地図 21cm 附録  
スタイン氏講述筆記ほか6篇 <24-  
120>
2. スタイン翁追弔会 (丸山善彦, 丸山正  
彦著刊 涙痕録 丸山作楽伝 明32  
pp323~328 所収) (東京日々新聞  
明23.10.15 記事の再録) <86-98>
3. 谷干城 洋行日記 (島内登志衛編  
谷干城遺稿 上卷 靖献社 明45 pp  
441~670 所収) <210.6-Ta853t-5>
4. 穂積陳重 舶来学説 (法窓夜話 有  
斐閣 大5 pp 213~220 所収) <68-  
646>
5. 織田万 教育行政及行政法 富山房  
大5 350p 23cm <256.1-79>
6. 福田徳三 社会政策と階級闘争 改造  
社 大11 514p 18cm <502-101イ>
7. 田村徳三 行政学の発達の歴史と其の  
方法論的研究の必要 (法律学と行政  
学 弘文堂 大14 pp 附録27~56  
所収) <317.1-Ta679g-(2)>
8. 嶺山政道 政治学の任務と対象 巖松  
堂 大14 543p 23cm <311-  
R66s>
9. 新明正道 形式社会学及び現象学的社  
会学 (I)~(III) (社会経済体系 日  
本評論社 昭2 (I) 7卷 pp 81~  
102, (II) 8卷 pp 299~320, (III)  
10卷 pp 323~350 所収) <a 308-20>
10. 加田哲二 近世社会学成立史 岩波書

- 店 昭3 296p 23cm <573-136>
11. 蠟山政道 行政学総論 日本評論社  
昭3 272p 18cm <583-19>
  12. 今中次麿 須多因氏講義筆記解題 (吉野作造篇 明治文化全集 第4巻 憲政篇 日本評論社 昭3 pp 解24~27 所収) <081.6-M448-Y>
  13. 新明正道 独逸社会学 日本評論社 昭4 228p 17cm (社会科学叢書 第16編) <583-19>
  14. 服部英太郎 シュタイン (社会科学大辞典 改造社 昭5 pp 530~531 所収) <303.3-Sy9223-S>
  15. 服部英太郎 市民的社會 (同上 pp 474~476 所収) <同上>
  16. 吉野作造 スタイン・グナイストと伊藤博文 (閑談の閑談 書物展望社 昭8 pp 159~192 所収) <645-28>
  17. 鈴木義男 行政法学方法論の変遷 (公法学の諸問題 第2巻 有斐閣 昭9 pp 437~488 所収) <678-86>
  18. スタイン氏意見書 (伊藤博文編 秘書類纂 第13巻 憲法資料 下 秘書類纂刊行会 昭10 pp258~286 所収) <310.8-I 783h>
  19. スタイン博士來翰 伊東巳代治宛 1899.4.2 付 (同上 pp287~294 所収) <同上>
  20. 憲法講義 (同上 第12巻 憲法資料 中 pp 277~362 所収) <同上>
  21. シュタイン書翰 黒田清隆宛 1889.1.6 付 (同上 第13巻 憲法資料 下 pp 252~257 所収) <同上>
  22. 壘国法学博士スタイン氏ト談話要領 明22.11.7 付 (同上 第11巻 憲法資料 上 pp 199~200 所収) <同上>
  23. 鈴木安蔵 日本憲法史研究 叢文閣 昭10 419p 20cm <692-122>
  24. 渡辺幾次郎 明治天皇と立憲政治 学而書房 昭10 262p 19cm <599-498>
  25. 鈴木安蔵 スタイン氏憲法草案について (明治政治史研究会編 明治政治史研究 第2輯 ナウカ社 昭11 pp98~119 所収) <312.1-M448-M>
  26. 蠟山政道 行政学原論 第1分冊 日本評論社 昭11 238p 22cm <718-55>
  27. 金子堅太郎 憲法制定と欧米人の評論 日本青年館 昭12 395p 19cm <750-63>
  28. 皇至道 シュタイン (教育学辞典 第2巻 岩波書店 昭12 pp 1124~1125 所収) <254-16>
  29. 尾佐竹猛 憲法制定 (日本憲法制定史要 育成社 昭13 pp 194~297 所収) <745-24>
  30. 尾佐竹猛 欧州における伊藤の憲法調査 調査資料としての諸学説 (日本憲政史大綱 下巻 日本評論社 昭14 pp 673~711 所収) <753-134>
  31. 清水伸 独逸に於ける伊藤博文の憲法取調と日本憲法 岩波書店 昭14 442p 23cm <784-64>
  32. 金子堅太郎 欧州憲法の調査 (伊藤博文伝 中巻 春畝公追頌会 昭15 pp 245~360 所収) <289-I 892ウ>
  33. 鈴木安蔵 伊藤博文の渡欧と憲法調査 グナイスト・モッセおよびスタインの教説 (日本憲法史概説 中央公論社 昭16 pp 328~348 所収) <323.2-Su96ウ>
  34. 新明正道 国家論 (三木清編 哲学辞典 河出書房 昭16 所収) <未所蔵>

35. 杉村広蔵 社会科学 (同前 所収) 30 pp 解27~30) <081.6-M448-M(t)>  
<未所蔵>
36. 島恭彦 財政思想の発展「官僚主義財政学批判」 経済学全集 第一部 経済理論の発展 潮流社 昭24 所収) 47. 持田栄一 シュタイン (教育学辞典 3巻 平凡社 昭30 pp 267-268 所収) <370.33-Ky9945-H>
37. 安藤堯雄 教育政策総論 教育科学社 昭24 325p 21cm <373.1-A47ウ> 48. シュタイン (西洋人名辞典 岩波書店 昭31 p 667 所収) <280.3-I 922-S>
38. 蟻山政道 行政学講義序論 日本評論社 昭25 266p 22cm 49. 皇至道 シュタイン 牧書店 昭32 152p 図版 19cm (西洋教育史 第9) <371-cS81Ss>
39. 石山修平 教育史観 (教育大学講座 4 西洋教育史 金子書房 昭25 pp 373~415 所収) <370.8-To456K> 50. 長浜政寿 行政学序説 有斐閣 昭34 252p 22cm <317.1-N121g>
40. 安藤堯雄 ヨーロッパ教育社会学の発達 (同上 5 教育社会学 pp 193~241 所収) <同上> 51. 秋元律郎 シュタイン 有斐閣 昭34 74, 20p 図版 18cm (人と業績シリーズ 第4) <361-cS81As>
41. 長浜政寿 国家機能の分化と集中 弘文堂 昭25 119p 21cm (近代国家論 第2部 機能 その(1)) <313-Ki234> 52. 井上久雄 近代日本教育法の成立 風間書房 昭44 936p 図版 22cm <AZ-613-4>
42. 穂積陳重 舶来学説 (法窓夜話 河出書房 昭26 《市民文庫26》 所収) <320.4-H734h> 53. 長浜政寿 シュタイン (世界大百科事典 第14巻 平凡社 昭47 p 419 所収) <UR1-22>
43. 林健太郎 シュタイン (ロレンツ・フォン) (世界歴史事典 9巻 平凡社 昭27 p 208 所収) <203.3-Se1224-H> 54. 井手嘉憲 行政学 (ブリタニカ国際大百科事典 第5巻 ティービーエスブリタニカ 昭48 pp 433~434 所収) <UR1-26>
44. シュタイン (政治学事典 平凡社 昭29 pp 643~644 所収) <310.33-Se122-H> 55. 長浜政寿 現代行政における「公共性」の問題 (現代国家と行政 有信堂 昭48 pp 3~38 所収) <A311-35>
45. 阿閉吉男 ローレンツ・フォン・シュタイン (代表的社会学者ドイツ篇 教育書林 昭29 pp 9~44 所収) <361.2-A957d>
46. 今中次麿 須田因氏講義筆記解題 (明治文化研究会編 明治文化全集 改版 第1巻 憲政篇 日本評論新社 昭

#### 雑誌記事

1. 埃国行政学の泰斗 スタイン氏小伝 (日本の法律 2巻5号 明23.10 pp 72~74) <雑21-105>
2. 碩儒 スタイン氏逝けり矣 (日本の法律 2巻10号 明23.10 pp 84~85) <雑21-105>
3. 末松謙澄 伊藤公の歐洲における憲法

- 取調願末 (国家学会雑誌 26巻12号 大1.12 pp 125~136) <雑21-126>
4. George Adler 著 平井新訳 マルクス社会学説の起源並に之に対するヘーゲル, フォイエルバッハ, シュタイン及びプルドンの影響 (三田学会雑誌 19巻3号 大14 pp 144~178) <雑154-38イ>
  5. 加田哲二 社会学者としてのローレンツ・フォン・シュタイン (三田哲学会編 哲学 3輯 昭2 pp 1~88) <雑5-30>
  6. 吉野作造 日本憲政に対する御傭外人の貢献 (I), (II) (明治文化研究 (I) 4巻9号 昭3.9 pp 9~13, (II) 4巻10号 昭3.10 pp 2~5) <Z8-956>
  7. 吉野作造 スタイン・グナイストと伊藤博文 (改造 15巻2号 昭8.2 pp 60~77) <雑54-90>
  8. 鈴木安蔵 「スタイン氏憲法草按」について (明治文化 9巻3号 昭11.3 p2) <Z8-956>
  9. 神戸正一 財政学史に於けるローレンツ・フォン・シュタイン (経済学論集 7巻5号 昭12 pp 64~112) <雑22-54>
  10. 天沢不二郎 ナチズムと労働行政—再認識されるロレンツ・フォン・シュタインの労働行政観 (社会政策時報 211号 昭13 pp 1~27) <雑23-17>
  11. 長浜政寿 ドイツ官房学的行政学の成立 (I)~(III) (法学論叢 (I) 38巻5号 昭13 pp 79~111, (II) 39巻3号 昭13 pp 74~108, (III) 40巻1号 昭13 pp 111~150) <雑21-138ロ>
  12. 岡山征太郎 スタイン博士を祭る祝詞 (明治文化 12巻11号 昭14.11 pp 5~6) <Z8-956>
  13. 皇至道 教育行政学の根本問題—シュタインの教育行政学について (精神科学 昭15年2巻 pp 166~189) <雑1-22>
  14. 鈴木安蔵 再び「スタイン氏憲法草按」について (明治文化 14巻5号 昭16.5 pp 1~2) <Z8-956>
  15. 鈴木安蔵 スタイン氏講義「憲法及行政法要義」について (明治文化 14巻7号 昭16.7 p1) <同上>
  16. 水本敬昌 スタイン博士の書翰 (明治文化 14巻9号 昭16.9 pp 4~5) <同上>
  17. 薄井福治 国会開設の勅諭とスタイン博士召聘の議 (明治文化 14巻11号 昭16.11 pp 1~2) <同上>
  18. 長浜政寿 行政学の現実的基礎 (I), (II) (法学論叢 (I) 45巻5号 昭16 pp 1~47, (II) 45巻6号 昭16 pp 65~105) <雑21-138ロ>
  19. 長浜政寿 行政の現実的把握 (I), (II) (法学論叢 (I) 48巻4号 昭18 pp 40~62, (II) 49巻6号 昭18 pp 28~53) <同上>
  20. 辻清明 ロレンツ・シュタインの行政学説—行政学研究への一つの緒口として (I), (II) (国家学会雑誌 (I) 57巻10号 昭18 pp 1~41, (II) 57巻12号 昭18 pp 58~88) <雑21-126>
  21. 矢崎光園 市民社会と自由の問題—ヘーゲルからシュタイン迄 (I), (II) (法律時報 (I) 22巻1号 昭25 pp 35~42, (II) 22巻5号 昭25 pp 48~59) <Z320.5-H6>
  22. 皇至道 行政学の理念と教育行政—シ

シュタイン行政学の研究 (広島大学教育学研究室編 教育科学 8号 昭25 pp 105~136) <Z370.5-Ky86>

23. 長浜政寿 現代行政における「公共性」の問題 (法と政治 4巻3号 昭28 pp 1~44) <Z320.5-H13>
24. 皇至道 教育制度の発達段階—シュタインの教育制度史観 (広島大学教育学研究室編 教育科学 10号 昭28) <該当巻号は当館未所蔵>
25. 秋元律郎 ローレンツ・フォン・シュタインとドイツ社会学の成立 (I), (II) (政治経済論叢 (I) 4巻4号 昭30 pp 36~62, (II) 5巻1号 昭30 pp 48~77) <Z305-Se1>
26. 石部元雄 シュタインの教育行政概念—社会理論を中心として (教育学研究 23巻3号 昭31 pp 15~32) <Z370.5-Ky26>
27. 秋元律雄 ローレンツ・フォン・シュタインの社会学における国家と社会の問題について (政治経済論叢 6巻4号 昭32 pp74~116) <Z305-Se1>

### 新聞記事

1. 北島道龍 欧洲巡錫埃国スタインと語る (東京日々新聞 明16.8.9) <YB-6>
2. 欧洲に於る丸山作楽埃国スタインを訪ふ (同上 明21.1.28) <同上>
3. 埃国碩儒スタイン没す (同上 明23.9.27) <同上>
4. スタイン翁追弔会 (同上 明23.10.15) <同上>

### 文書類

- ・当館憲政資料室伊藤博文関係文書
  1. スタイン氏講義筆記
- ・同上 伊東巳代治関係文書
  2. 斯丁氏講義筆記 自明15.9.18至10.31
    1. 1~5篇, 2. 6~11篇, 3. 12~18篇
  3. 山県有朋書翰原稿 スタイン宛 (意見書受領ニツキ礼状) 1890.4.28付 墨書朱字書入
  4. 山県有朋書翰邦文草稿 スタイン宛 明23.4.28付 墨書
  5. 山県有朋書翰草稿 スタイン宛 明23.9 英文1通鉛筆書 邦文1通 墨書
  6. 伊藤博文書翰 スタイン宛 明23.9.14付 (英文) 鉛筆書草稿1通 ペン書1通
  7. ○スタイン博士追悼祭記事 (英文) ペン書  
○スタイン博士追悼祭祝詞 墨書
- ・同上 三条家文書 (三条実美)
  8. スタイン氏行政裁判説大意
- ・同上 井上馨関係文書
  9. 日本憲法ニ付埃国法学博士「スタイン」ノ談話 明22.11.27付
- ・国学院大学梧陰文庫 (井上毅)
  10. スタイン氏天津条約論 東京日々新聞 明18.9 切抜 美濃紙6枚貼付

11. スタイン氏東亜細亜領事権柄論 東京日々新聞 明18.9 切抜 美濃紙 11枚貼付
12. スタイン講義訳—経済理財政体 明 21.1.13付 野紙7枚
13. スタイン氏トノ談話要領 明22.11.27
14. 日本帝国及其法制沿革 スタイン述 野紙35枚

15. スタイン氏財政学予算ノ部抄訳 野紙1枚
16. スタイン氏行政改革沿革調 野紙3枚
17. スタイン氏英国法註釈君主特権抄訳 野紙9枚

〈 〉内は当館請求記号  
(ほし・けんいち 法律政治課)

## レファレンス事例

### 質問

Averroes (Ibn Rushd) に関する所蔵資料について。

〈アルジェリア国立図書館から〉

### 回答

Averroes (Ibn Rushd) 研究は現在のところ正直に言って低調です。ここでは戦後の文献に限って回答します。〈 〉内は当館請求記号。

#### 1) 図書

● 井筒俊彦 イスラーム思想史—神学・神秘主義・哲学— 岩波書店 1975 362p  
イブン・ルシド (Averroes) の思想:  
P303~338 〈HB181-7〉

● 田中千里 中世における宗教と学術の伝播—ヨーロッパ及びオリエント— 二玄社 1962 191p イブン・ルシド: p133~143  
〈132-Ta817t〉

#### 2) 雑誌論文

● 田中千里 Averroes の Destructio Destructionum における Physica について  
中世思想研究 (14) 1972.10 p86~95

〈Z9-277〉

● 田中千里 アヴェロエス [Averroes = Ibn Rushd] と彼の「破壊の破壊」について  
近畿大学教養部研究紀要 2(2) 1971.3  
p1~14 〈Z22-693〉

#### 検索手段

● 図書: 国立国会図書館閲覧目録/  
イスラーム関係文献目録(日本語の部) 日本オリエント学会編刊 昭和34(1959)

● 雑誌論文: 雑誌記事索引 昭和23~51年  
国立国会図書館編刊/イスラーム記事目録(著者別) 渡辺宏編刊 1961

● 図書・雑誌論文: 日本におけるアジア・アフリカ研究の現状と課題—一文献目録・解題— 西アジア アジア・アフリカ総合研究組織編刊 1966

〈参レ第1299号〉